

氏名	矢野 哲也	部署	健康開発学科	職名	准教授
研究分野	病理検査学、細胞診断学				
学位	博士(保健学)				
学歴	1997年埼玉県立衛生短期大学衛生技術学科、2012年東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科博士前期課程、17年東京医科歯科大学保健衛生学研究科博士後期課程				
経歴	1997年国家公務員共済組合連合会虎の門病院病理部 臨床検査技師、2011年慶應義塾大学医学部電子顕微鏡研究室 技術員、18年埼玉県立大学保健医療福祉学部 准教授				
所属学会(役職)	日本臨床衛生検査技師会、日本病理学会、日本臨床細胞学会、日本顕微鏡学会、医学生物学電子顕微鏡技術学会、日本臨床検査学教育学会、日本病理組織技術学会				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	LV-SEMIにおける細胞診検査への応用	共著	なし	医電顕技術誌、33(1)、9-10	矢野哲也、安藤克己	2020.3
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者(発表者は○印)	発表等年月	
1	ワークショップWS-II LV-SEMIにおける細胞診検査への応用	共同	医学生物学電子顕微鏡技術学会第35回学術講演会および総会	○矢野哲也、安藤克己	2019.5	
2	ワークショップ8 医学部技術員としての学位取得とその後	単独	第58回日本臨床細胞学会秋期大会	○矢野哲也	2019.11	
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者(発表者は○印)	発表等年月	
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	該当なし					
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	病理検査学Ⅰ	○	15	2年次生を対象に、病理学各論(循環器、呼吸器、消化器など)、病理検査学について講義を行った。		
2	病理検査学Ⅱ	○	9	3年次生を対象に、細胞診検査についての講義、標本作製実習、標本観察実習を行った。		
3	病因病態検査学		2	大学院博士前期課程1年次生を対象に電子顕微鏡を用いた研究法について講義を行った。		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	検査総合演習		1	病理検査学に関する国家試験対策のポイントを解説した。		
(3) 実習						
	実習の名称	科目責任者	学外実習:期間 学内実習:コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	病理検査学実習Ⅰ	○	24コマ	2年次生を対象に、ブタ臓器を用いた切り出しから標本作製を行い、病理組織標本作製の基礎を実習した。		
2	病理検査学実習Ⅱ	○	22コマ	3年次生を対象に、病理組織標本作製における応用的な検査法(特殊染色、免疫染色など)を実習した。		
3	臨地実習		2019.9~2020.3	1施設の担当教員として実習指導を行った。		
4	ヒューマンケア体験実習		2019.4~9	1施設の担当教員として実習指導を行った。		

(4)論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2019.4～2019.12	主指導	5名
2			副指導	名
3			主指導(指導教員)	名
			副指導(指導補助教員)	名
			主指導(指導教員)	名
			副指導(指導補助教員)	名
(5)その他				
	名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
1	学年間交流会開催	2019.4	検査技術科学専攻1～4年生を対象に交流会を行った。	
2	東京医科歯科大学 臨床准教授	2019.9	病理検査学 電子顕微鏡分野の講義1コマ担当した。	
3				
4. 社会貢献活動				
(1)講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	一般公開講座 生命科学体験教室 血液一滴からわかること	埼玉県立大学	小学生を対象に血液像の鏡検指導や血液型検査の実習を行った。	2019.7
2	一般公開講座 生命科学体験教室 シラスを究める！	埼玉県立大学	小学生を対象にシラスを用いた骨格標本の観察実習を行った。	2019.7
3	中級者のためのステップアップ講習会	日本臨床検査同学院	病理実務者のための臓腑に対する電子顕微鏡標本作製技術について講演した。	2019.9
(2)国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	公益社団法人東京都臨床検査技師会	役員選出委員		2019.4～2021.3
(3)ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4)その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	PCLジャパン	細胞診検査業務を検査センターで行い、地域医療に貢献した。	2019.4～2020.3
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	情報図書委員会 委員		2018.4～2020.3
2	学科等における委員会等	検査技術科学専攻教務担当		2018.4～2020.3
3	学科等における委員会等	検査技術科学専攻就職支援担当		2018.4～2020.3
4	大学広報活動	オープンキャンパス病理検査担当		2019.6～2019.8
5				
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
	該当なし			